

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は2021年度日本陸上競技連盟競技規則および本競技会申し合わせ事項により実施する。また、日本陸上競技連盟の陸上競技活動再開についてのガイダンス「【第3版】競技会再開について（2021年1月15日）」に基づいて実施する。なお、フィールド種目においてTR5.5は適用しない。

2 競技者案内所(TIC)

競技者案内所を競技場正面入り口1階ロビーに置き、次の業務を行う。

- ①競技者、チーム関係者の受付
- ②各種問い合わせ、落し物等の取扱い
- ③抗議、上訴の受付
- ④プログラム販売(1冊500円)
- ⑤入賞者への賞状配布

3 受付について

受付については、次のように行う。

- ①競技者の受付は3日間とも8:00からTICで行う。毎日朝7:30までに体調管理チェックシートに基づき、高校大会用体調管理入力フォームに入力を済ませておくこと。入力が確認できない者は、競技会に参加できない。
- ②チーム関係者の受付は、8:30よりTICで行う。事前に申請した各チーム5名以内とし、受付の際、健康管理チェックシートを提出すること。提出後、「手首・入場許可証」を発行する。競技場滞在中は随時身につけること。*入場許可証が確認できない方は退場をお願いする。

4 練習について

投てき及び男女棒高跳（競技前）の練習は別紙「投てき補助競技場及び本競技場での棒高跳練習時間」に従い行うこと。競技役員の指示に従い、決められた場所で行うこと。

5 競技場について

競技場（含補助競技場）は全天候舗装のためスパイクのピンはすべて9mm以下の平行ピンとする。ただし、走高跳・やり投は12mmを超えてはならない。

6 招集について

招集等については次のように行う。

- ①招集は、競技場で行う。（トラック：スタート地点／フィールド：競技場所）招集完了時刻は、プログラム競技日程記載の通りとする。
- ②競技場への入場は、第4ゲート(100mスタート後方)のみとする。
- ③競技日程記載の会場入場時間から入場することができる。その際、競技者係（競技者係は第4ゲートにおく。以下競技者係）が、アスリートビブスがついていることを確認したうえで、シューズ・商標・競技注意事項6-①の該当する持ち物等のチェックを行う。また、腰ナンバー・通しナンバーの配布を行う。
- ④種目を棄権する場合は、本人または代理人が競技者係に申し出ること。招集完了時刻に遅れた競技者は、その種目を棄権したものとみなす。
- ⑤他の種目と兼ねて、同時に競技する者は、競技者係とその種目の審判員に必ず申し出て、競技進行に支障のないようにすること。
- ⑥リレー種目に出場するチームは、各ラウンドともオーダー用紙に必要事項を記入し、第1組目の招集完了時刻の1時間前までに競技者係に提出すること。一度提出したらその後の変更は認めない。
- ⑦各ラウンドともオーダー用紙提出後、傷病等により選手の出場ができない場合、医務員の判断でその選手のみ交代が認められる。ただし、編成（走順）の変更は認められない。その際は、競技者係まで申し出ること。
- ⑧混成競技の招集は、トラック競技が開始10分前までに、フィールド競技は30分前までに現地に集合し、行う。また、最終種目（男子1500m・女子800m）は、混成競技係からスタート前の招集時に腰ナンバーと通しナンバーを受け取る。また、混成競技のシューズの確認は、その日の第一競技招集時に、その日出場するすべての競技のシューズを確認する。
- ⑨競技場内への入退場は係員（競技者係・マニヤル等）の指示・誘導により行う。また、出場する選手以外の場内入場はできない。

7 競技について

競技方法については以下のように行う。

- ①アスリートビブスは、胸・背各部に取り付ける。ただし、跳躍種目は胸・背のどちらかでよい。アスリートビブスのない者は出場できない。
- ②4×400mRのアンカーおよび800m以上の種目は腰ナンバー標識を、さらに3000m以上の種目は胸と背につけるレーンナンバー標識を入場時に競技者係より受け取ること。
- ③棒高跳用のポール以外の用器具は競技場備えつけのものを使用する。競技場内へは練習用といえども個人の器具を持ち込んではいならない。
- ④走高跳は第2曲走路内側に設置し、混成競技では、Aピット（ホームストレート側）・Bピット（バックストレート側）の2か所で行う。また、走幅跳はAピット（ホームストレート側）・Bピット（バックストレート側）の2か所で行う。
- ⑤出場する選手、競技役員、補助員以外は競技場内へ入らないこと。また、出場する選手が競技場所を離れる場合は必ず競技役員に申し出ること。
- ⑥リレー・走高跳のマーカ―は各自で用意をすること。それ以外のフィールド種目のマーカ―は主催者が用意する。終了後は各自で撤去すること。
- ⑦リレー出場者は各チーム同一色のユニフォームを着用するものとする。
- ⑧混成競技は、控室を設けないので、各自連絡等場内放送に注意すること。
- ⑨三段跳の踏切板は砂場より男子は11m、女子は9mの位置に設置する。
- ⑩競技場所からの退場は、すべて第4ゲート(100mスタートライン後方)のみとする。競技終了後は、指定された動線を通り、退場すること。
- ⑪フィールド競技の試技を命ぜられてからは、以下の時間内に試技を開始しなければならない。

残っている 競技者数	単独種目			混成競技	
	走高跳	棒高跳	その他	走高跳	その他
4名以上	1分	1分	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分	1分30秒	1分
1人	1分	5分	—	2分	2分
連続試技	2分	3分	2分		

- ⑫混成競技においてトラック種目の不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートした競技者はすべて失格とする。
- ⑬走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方は、優勝が決まって最後の一人となるまでは以下のとおりとする。ただし天候等の状況により練習の高さを含め、変更することもある。

【男子】 練習

走高跳	1.65/1.80	1.70	1.75	1.80	1.85	1.90	1.93	1.96	・・・	
走高跳（混成A・B）	1.45/1.70	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.83	・・・
棒高跳	任意	2.80	3.00	3.20	3.40	3.60	3.70	3.80	・・・	

【女子】 練習

走高跳	1.35/1.50	1.40	1.45	1.50	1.55	1.58	1.61	・・・	
走高跳（混成A・B）	1.15/1.40	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.48	・・・
棒高跳	任意	2.00	2.20	2.40	2.50	2.60	2.70	・・・	

- ・同記録で順位決定（ジャンプオフ）が必要である場合（1位と北信越大会への出場権）は、バーの上げ下げを走高跳は2cm、棒高跳は5cmで実施する。
- ・棒高跳の公式練習は競技役員の指示により実施する。
- ・競技結果・スタートリストについては、記録速報サイト（右QRコード）にて発表をし、掲示は行わないので注意すること。

速報サイト QR



8 助力について

- ①競技者は、ビデオ・ラジオ・CD・MD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことはできない。
- ②コーチ等からの助言やビデオ等の視聴については競技場区域外（スタンド・芝生スタンド）のみとし、コーチングエリアを設ける。その際、芝生スタンドへの入場は、第2ゲート（1500m スタート後方）・第3ゲート（200m スタート後方）とする。ただし、ビデオのつりさげや手渡し、競技者が視聴の為に当該競技エリアから離脱することは認められない。招集所や競技場内でこれらのことが明らかになった場合は、主催者で預かり競技終了後返却する。

9 抗議・上訴について

競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、正式結果が発表されてから30分以内（同一日に次のラウンドがある場合は15分以内）にその競技者所属の顧問がTICまで申し出る。その抗議に対する審判長の裁定に納得ができない場合は、ジュリーに上訴することができる。その手続きは「上訴申立書」を記入の上、委託金（1万円）を添えて、TICへ申し出ることとする。

10 学校対校について

- ①男女別学校対校とし、男女別種目の合計点によって学校順位を決定する。（同点の場合は上位入賞者の多い学校を上位とする。）
- ②入賞者の得点は1位8点、2位7点、以下6、5、4、3、2、1点とする。

11 表彰について

- ①各種目6位までの入賞者に賞状を授与する。表彰は行わないので、TICに学校毎に賞状を取りに来ること。
- ②男女共、総合得点優勝校には優勝杯と賞状を、2・3位の高校には賞状を授与する。

12 北信越大会への出場について

- ①6位（6人）までの入賞者は北信越大会への出場資格を得る。ただし、競歩・混成競技・女子棒高跳・女子三段跳・女子ハンマー投は4位（4人）までの入賞者とする。
- ②トラック競技で同着6位の場合は、北信越大会への出場が認められる。
- ③北信越大会出場権取得者は競技終了後、ただちに総務で申込個票の確認を行う。また、大会終了日までに本部へ必要書類とともに参加料1人2000円、プログラム代800円を添えて各校まとめて申込をする。

13 応援・テントの設営について

- ①声を出しての応援、集団での応援はしない。また、芝生スタンドも観戦可能とするが、密を避け、間隔をあけること。
- ②各校選手休憩場所の確保は、顧問申し合わせ事項に従い実施する。競技場は3日間とも午前7:30開場。
- ③テントを設営する場合は、3密を避け、換気に十分注意をし、マスクを必ず着用すること。メインスタンドコンコースの混雑を避けるために、芝生スタンド上段もテント設営可能とする。

14 応急処置について

大会期間中の事故については、本競技場医務室にて応急処置のみ行う。その後の処置については、各学校の引率者の責任において対処すること。

15 その他

- ①競技者の服装・身なりは、高体連の競技者の心得に準ずるものとし、高校生らしい態度で臨むこと。
- ②貴重品は各自保管すること。ゴミ等は各自が責任をもって持ち帰ること。
- ③正面スタンド・芝生スタンドへの入場は、正面階段及び第2ゲート（1500m スタート後方）・3ゲート（200m スタート後方）のみとし、許可者以外は入場できない。
- ④ウォームアップ場（雨天走路も含む）への入場は、該当選手のみとし、付き添いの入場は認めない。ただし、ウォームアップ場外からのコーチングは認める。（ソーシャルディスタンスを確保すること）ウォームアップ場には競技場と同様、個人の練習用器具を持ち込まないこと。ただし、投擲用具についてはこの規定の外とし、個人で用意すること。（投擲用具の貸し出しはしない）
- ⑤競技場内での撮影は該当選手の関係者が、その該当選手を対象にしたもののみを許可し、それ以外の撮影は一切認めない。
- ⑥プログラムの記載ミスについてはプログラム訂正用紙をTICに提出すること。
- ⑦活動中以外でのマスク着用・手指の消毒・3密の回避に努めてください。
- ⑧大会終了後、2週間は体調観察を行い、発熱などの症状があった場合には主催者に連絡をする。
- ⑨更衣室の滞在はマスク着用の上、短時間とする。
- ⑩選手待機場所は、メインスタンドコンコースと芝生スタンド上段とする。